

JA岩手県信連 上半期の概況



経営方針

経営理念

存在意義として

私たちは、協同組合精神のもと地域金融機関として、JAとともに金融サービスの提供を通して農家経営の向上を図り、併せて岩手の農業と地域経済の発展に貢献します。

経営姿勢として

私たちは、JAバンクの一員として、コンプライアンスをモットーに安定的で健全な経営を目指します。

行動規範として

私たちは、信頼に対し「信用・奉仕・創造」をもって行動します。

第16次経営3か年計画（平成25年度～平成27年度）

基本目標

外部評価

JAと一体となって特長のある金融サービスを提供することにより、「農業」「暮らし」「地域」に貢献し「選ばれるJAバンク岩手」となっていること。

事業・経営態勢

JAとの機能分担による一体的事業運営のもと、安定した事業基盤および強固な財務基盤を有するJAバンク岩手となっていること。

組織機能

JAとともに経営健全化計画を完遂し、JAニーズに対応して業務の選択と集中を進め、効率性が高く、機能強化された信連となっていること。

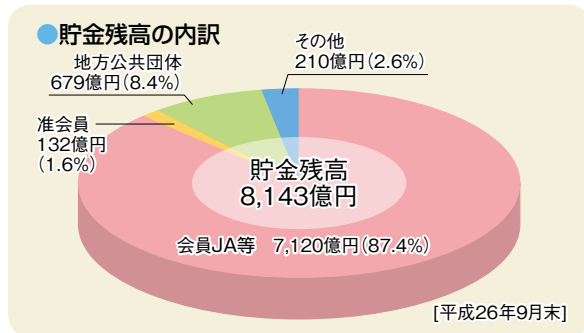
基本戦略

- 経営健全化計画、信用事業強化計画の確実な実践と経営管理態勢の強化
- JAバンク岩手の事業運営態勢の強化とインフラ整備
- JAバンク岩手の事業・利用者基盤の強化
- 東日本大震災からの早期復興
- JAとの機能分担による農業金融等への取組強化
- 安定還元維持、財務基盤の強化、専門性向上による指導・サポート機能の発揮

社会的責任・地域貢献情報

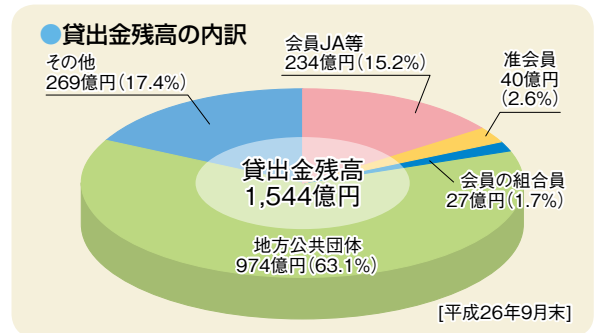
■ 地域からの資金調達の状況

当会の資金は、その大半が県内JAにお預けいただいている農家組合員および地域のみなさまの大切な財産である貯金を源泉としております。



■ 地域への資金供給の状況

当会では、農業関連団体のみなさまはもとより、岩手県をはじめとする地方公共団体、さらには地域経済を支える地元企業のみなさまにもさまざまな用途の資金をご用意し幅広い融資を行っております。



■ 地域密着型金融の取組み

当会は、農業専門金融機関として、食の安全と安心を地域のみなさまにお届けすることを金融面からサポートするとともに、地域のみなさまの事業や生活向上に資するべく幅広い金融サービスの提供に努めております。

その実現に向けた1つの手立てとして、担い手金融を担当する「農業金融センター」を設置し、県内JAに134名配置している「JA担い手金融リーダー」と連携し、農業の担い手はもとより、すべての農業者のみなさまに対して、幅広い金融サービスや相談対応を展開しております。

また、地元企業のさらなる発展に向けて、経営支援等の取組みも行っております。

① 農業資金相談への対応

JA担い手金融リーダーと一緒に農業者のみなさまを訪問する「出向く活動」の実践に加え、各種イベント（農機展示会）や新農業人フェアにおいて農業資金相談ブースを出展し農業資金相談対応を行っております。

また、ラジオや新聞広告による制度資金の紹介、農業金融センターのフリーダイヤルの周知等も行っています。

② 復興ファンドの活用

JAバンク岩手は、東日本大震災で被災した農業法人等に対し、農林中央金庫とアグリビジネス投資育成(株)が創設した「東北農林水産業応援ファンド(復興ファンド)」を提案しております。

③ 行政機関との連携

アグリビジネスのプロフェッショナルである「アグリ管理士」を育成する「いわてアグリフロンティアスクール(IAFS)」を岩手県・岩手大学・JAグループで運営しております。

④ 6次産業化・農商工連携の取組み

JAいわてグループの6次産業化の取組みを促進するため、定期的にJA6次産業化促進対策連絡会を開催しております。

また、岩手県と連携を図り「いわて食の大商談会2014」を他金融機関と共催するなど、ビジネスマッチングへの対応を行っております。

⑤ コンサルティング機能の発揮

取引先における経営計画の策定および実績の進捗管理の会議に参画し、経営改善に向けた支援を行っております。



「いわて食の大商談会2014」にて

東日本大震災からの復興に向けた対応

当会では、被災した方々の復興応援の一環として、県下JAを通じて、「復興応援定期貯金」および「復興応援ローン」を提供するとともに、放射能被害に対応するため「JAバンク震災対応緊急資金」の取扱いや、JAバンク私的整理ガイドライン相談センターによる二重債務問題への取組みを継続しております。

さらに、当会が窓口となり県内農業法人に対して「東北農林水産業応援ファンド（復興ファンド）」を紹介するなど震災からの復興支援に積極的に取り組んでおります。

文化的・社会的貢献活動

開催した主なイベント

- **JAバンク岩手ちよきんぎょカップ（岩手県少年サッカー新人大会）**
JAバンク岩手が協賛して今年で11年目となる「ちよきんぎょカップ」は89チーム（1,466名）の参加のもと盛大に開催されました。
- **JAバンク岩手グラウンド・ゴルフ大会、ゲートボール大会、パークゴルフ大会**
年金友の会会員を中心に、地域を越えた仲間作りや健康で豊かな生活の支援を目的として開催しました。

開催した主な相談会等

- **無料年金相談会**
県下JA51店舗で社会保険労務士による無料年金相談会を開催し、多くのみなさまのご相談に応じ、各種手続き等のお手伝いをさせていただきました。
- **税金セミナー、資産運用セミナーの支援**
県内JAで開催された各セミナーの支援をしました。

友信会の活動

友信会は、当会が融資のお取引をいただいている各企業様を会員とし、金融の円滑化を図ると同時に、会員相互の親睦・交流・情報交換の場を提供することを目的に運営しております。

（平成26年9月末 会員数107社）

全日本大学駅伝への特別協賛

JAバンクでは、全日本大学駅伝に特別協賛し、東北地区予選大会では大会運営のサポート、選手への応援を実施しました。

JAバンク食農教育応援事業

食農教育の補助教材を県内小学生に贈呈したほか、JAバンク岩手ちよきんぎょカップ大会終了後に食農教室（「食と農と体作り」）を開催しました。



「JAバンク岩手ちよきんぎょカップ」の開会式にて



「JAバンク岩手グラウンド・ゴルフ大会」にて



「全日本大学駅伝東北地区予選大会」にて

上半期の経営状況

主要勘定状況

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年3月末	平成26年9月末
貯 金	794,587	776,567	814,341
貸 出 金	151,737	160,956	154,409
有 価 証 券	163,833	160,148	151,590
預 け 金	516,718	499,098	552,702

[注] 1.貯金には、譲渡性貯金を含んでおります。
2.有価証券には、金銭の信託を含んでおりません。

損益の状況

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年3月末	平成26年9月末
業 務 純 益	1,924	2,641	1,431
経 常 利 益	1,803	2,630	1,508
当 期 剰 余 金	1,241	1,987	1,082

[注] 業務純益とは、事業粗利益から経費および一般貸倒引当金繰入額を控除したものです。

自己資本比率の状況

(単位：百万円)

		平成26年3月末	平成26年9月末	増 減
コア資本に かかる基礎項目	会員資本	33,067	34,149	1,082
	引 当 金	1,948	2,013	64
	適格旧資本調達手段	10,289	9,286	△1,003
コア資本にかかる調整項目		—	—	—
自己資本総額		45,305	45,449	143
リスク・アセット等計		208,215	213,344	5,128
自己資本比率		21.75	21.30	△0.45

有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区 分	平成26年3月末			平成26年9月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	6,749	6,909	160	6,148	6,382	233
その他	147,140	153,398	6,258	138,032	145,441	7,409
合 計	153,889	160,308	6,418	144,181	151,824	7,642

[注] 有価証券の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。取得価格は、満期保有目的の有価証券またはその他の目的の有価証券については償却原価適用後、減損後の帳簿価格を記載しております。

【金銭の信託】

(単位：百万円)

区 分	平成26年3月末			平成26年9月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
運用目的	—	—	—	2,500	2,549	49
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
合 計	—	—	—	2,500	2,549	49

[注] 金銭の信託の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。取得価格は、運用目的金銭の信託については取得価格を記載しております。

金融再生法開示債権（単体）

(単位：百万円)

債 権 区 分	平成26年3月末	平成26年9月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	793	749	△ 43
危険債権	2,768	2,665	△ 103
要管理債権	—	—	—
小 計	3,562	3,415	△ 146
正常債権	158,819	152,354	△ 6,464
合 計	162,381	155,770	△ 6,611

[注]

- 破産再生債権およびこれらに準ずる債権とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれに準ずる債権をいいます。
- 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状況および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取ができない可能性の高い債権をいいます。
- 要管理債権とは、3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権をいいます。
- 正常債権とは、債務者の財政状況および経営成績に特に問題がないものとして、注1、注2および注3に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

リスク管理債権の状況

(単位：百万円)

債 権 区 分	平成26年3月末	平成26年9月末	増 減
破綻先債権額	159	161	2
延滞債権額	3,334	3,187	△ 146
3か月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
合 計 (A)	3,493	3,349	△ 144
担保・保証による保全額(B)	1,115	1,072	△ 43
個別貸倒引当金引当額(C)	2,031	1,867	△ 163
担保・保証等控除後債権額 (A-B-C)	346	409	62

[注]

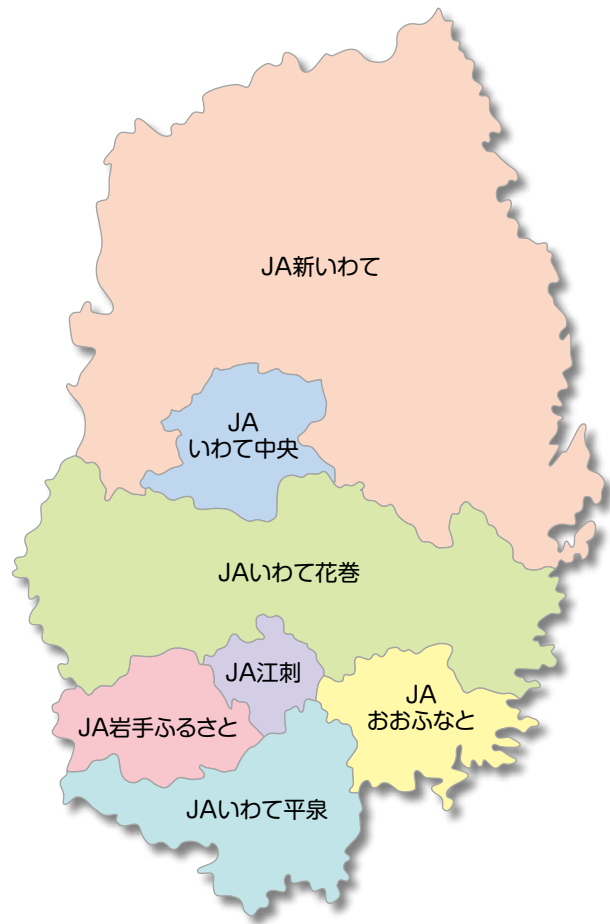
- 破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未取利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分は除く。以下「未取利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96号第1条第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じているものをいいます。
- 延滞債権とは、未取利息不計上貸出金で、注1に掲げるものおよび債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外のものをいいます。
- 3か月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している貸出金（注1、注2に掲げるものを除く。）をいいます。
- 貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払い猶予、元本の返済猶予、債権放棄のその他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金（注1、注2および注3に掲げるものを除く。）をいいます。

JAバンク岩手のネットワーク

県内JA数	8JA
店舗数	128店舗
ATM設置数	215台

平成26年9月30日現在

※ JA岩手中央酪のエリアは釜石市を除く岩手県一円。



様々な情報を満載！ JAバンク岩手の公式サイト

JAバンク岩手の概要や、県内JAのお取扱商品・サービス等といったJAバンク岩手の各種情報が、インターネットでご覧いただけます。また、パソコンや携帯電話を利用して貯金残高・入金明細の照会、振込、振替ができる「JAネットバンク」など、各種メニューへのリンクも充実しています。



<http://www.jaiwate.or.jp/jabank/shinren/>

※計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示していることから、合計増減などが表示上の計算と一致しない場合があります。
※構成比は100に調整しております。



2014 JA岩手県信連 上半期の概況

表紙／八幡平の紅葉（八幡平市）

JA岩手県信連 総務企画部
〒020-0022 盛岡市大通一丁目2番1号
TEL 019-626-8700
URL <http://www.jaiwate.or.jp/jabank/shinren/>

平成26年12月発行

